

# やさしい孫ヘルプ

〈8〉

1998年の長野冬季五輪は「日の丸飛行隊」がラージヒルで大ジャンプを見せ国民を勇気づけた。続いて長野パラリンピック大会も開かれた。

私たちは地元団体に協力を仰ぎ、会場周辺のバリアフリー環境をチェックしよう

と視察に入った。競技場はもちろん、周辺の鉄道、道路、ホテルにも伺い、大会までの整備計画などを教えてもらった。国際空港からの動線を確認し、観光施設なども対象にした。

長野では国宝の善光寺にいち早く車いすスロープが

設置された。無機質な設備

では興ざめたが、本堂と一体化して全く違和感がなかった。これができるなら大丈夫と感じたことを覚えて

いる。なかなか整備が進まないバリアフリー環境も、ピッ

## イベントで進む観光地の改善

グイイベントがあるとい気に

整つ。経済的に採算が合っ

なら五輪も万博も歓迎だ。現在は出雲大社や高千

穂、伊勢神宮なども車いす

85段を担いで上げてくれ

る石段駕籠(かご)がある。ちよつと値が張るが、足の

弱い人が風情も楽しめるい

いサービスだ。寺社では墓参りも忘れて

はならない生活文化で、そ

うした暮らしの伝承を体が不自由になつても行えるよ

うサポートする仕組みが必

要だ。大震災で被災した東北だ

## うまく利用して楽しんで

が、バリアフリーに熱心な

観光地も多い。先日、仮設

住宅に避難している方々を

福島県いわき市のスパリゾ

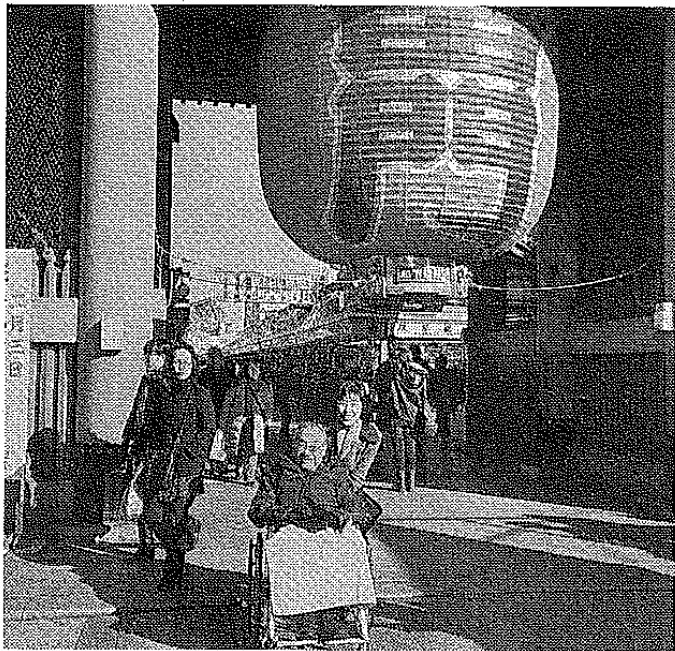
ートハワイアンスに案内し

た。元気に自立生活してい

る高齢者だったが、利用す

る、しないにかかわらず、

配慮のある設備や表示を見



東京・浅草もバリアフリー化に熱心だ

れば安心できる。

今年5月、いよいよ東京スカイツリーが開業する。

隅田川から見るツリーは格別で、屋形船や人力車との

組み合わせも楽しい。モダンなデザインのリパークル

ーズもあり、浅草近辺は車いすを利用する人にも親切

だ。

そうした社会資源を活用して、介護が必要になつて

も外出や旅を諦めずに楽しんでほしい。今年はロンドンでオリンピックとパリリ

ンピックが開催される。日本からもトラベルヘルパー

がアシストするが、開催後の整備が進んだ町を訪ねる

のは楽しみだ。

(日本トラベルヘルパー協会理事・篠塚恭一)